

平成 29 年度 第 1 回菊池地域認知症サポート医連絡会議 会議録

日 時：平成 29 年 9 月 29 日（金）午後 7 時 15 分～8 時 15 分

場 所：菊南温泉ユウベルホテル

出席者：認知症サポート医

城先生（菊池有働病院）、芹川先生（菊池養生園）、塩沢先生（菊池病院）、本田先生（菊池病院）、
信岡先生（中山記念病院）、井福先生（中山記念病院）、川内先生（中山記念病院）、
田中先生（大津じんないクリニック）、鈴木先生（熊本リハビリテーション病院）

地域連携室

宇野木総看護師長（菊陽病院）

地域包括支援センター

田野さん（合志市）、山口さん（菊池市）、上田さん（大津町）、井さん（菊陽町）

事務局

松岡さん（BPSD コールセンター）、杉本 PSW、後藤 PSW

議事：

1. 開会挨拶
 2. 議題① 趣旨説明『循環型認知症医療体制を目指して』・・・松岡さんより説明
 3. 議題② 年間スケジュール
 4. 議題③ 検討事項
 5. 意見交換
- 】 『菊池地域認知症サポート医連絡会議について』・・・杉本 PSW より説明

● ご意見等

【地域包括支援センター】

- ✓ 初期集中支援チームの活動をしています。医療へと繋がらない方もいらっしゃいます。認知症であると認めたくない方も多いため、かかりつけ医の先生からのご協力を頂きたいところではあります。
- ✓ 現在、地域にサポート医の先生方がどの程度いらっしゃるのかも、現状の把握が出来ていない状況です。今後、サポート医の活動が少しでも広がって頂けるよう、私達も力を入れていきたいと考えています。
- ✓ 市町村によっては、相談の窓口としてサポート医が存在するところもあります。日頃からの連携が大切だと感じています。

【認知症サポート医】

- ✓ サポート医としての役割や活動について理解しきれていない部分も多く、現状としては認知症外来で来院された方の診察を主に行っています。今後、役割などが定まってくれば、活動していきたいと思えます。
- ✓ 昨年度に研修を受けたばかりですので、経験不足というところもあります。勤務している病院自体も、認知症の経験が潤沢ではないような状況です。
- ✓ 近隣のクリニックの先生方からご紹介頂く時に、早くから認知症の治療を始めていらっしゃる先生も結構いらっしゃるようです。

- ✓ 認知症の相談があれば、なるべく早くサポート医へ繋げていくのですが、診察になると予約の場合もあり、時間がかかってしまうのも実情です。
- ✓ サポート医としての活動では、初期集中支援チームの中での支援が殆どかと思えます。中々医療へと繋がらないケースも多いので、経過を見守るような状況です。
- ✓ 認知症サポート医と言うのは、『地域との連携の役割を大いに果たす』のが役割であると考えています。初期集中支援チームへの参加や医師会の先生方との繋がりを用いて、役割を果たしていきたいと考えているところです。

循環型認知症医療体制を目指して
＝熊本県の協力で循環型認知症医療体制検討事業を実施＝

平成29年9月
熊本県精神科協会

1 経緯

◎国の新オレンジプランでは、認知症高齢者の適時、適切な対応による循環型認知症医療体制づくりが求められています。県内では、次の二つの課題がネックとなっています。

- (1)医療・介護の現場でBPSDへの対応
- (2)認知症サポート医の資格取得後の地域での役割

4地域モデル事業(県補助金)

2 県内4地域でモデル事業を展開

◎主な事業として以下の2つの事業を実施します。

- ▶(1)県内4地域のモデル地区の基幹病院に認知症BPSDセンターを設置(H28年度～)
 - ・BPSDの相談や医療・介護との連携・協力の体制づくり。
- ▶(2)菊池地域認知症サポート医連絡会議の設置(H29年度～)
 - ・認知症サポート医の役割等を意見交換し方向性を検討する。

3 菊池地域認知症サポート医連絡会議の設置

【趣 旨】

- ・各地域における認知症サポート医の課題等を整理し、地域での活動の在り方、又役割等を検討する。
- ・検討するにあたり、検討材料とするため、認知症サポート医のアンケート調査や、実際に専門医と一緒に認知症の医療や介護現場に赴き研修会等を実施します。

【検討する主な5項目】

- ①認知症サポート医に期待される役割と活動について
- ②そのための支援策
- ③認知症サポート医のスキルアップについて
- ④認知症サポート医と地域の関係機関(医療・介護・包括等)との連携強化
- ⑤BPSDセンター相談対応事業について(課題と方向性を整理する中に、認知症サポート医の関わり方や活動・役割等を入れて検討)

国・県への政策提案

4 意見をとりまとめて国・県への政策提案へ

- ◎ 4地域での認知症サポート医の活動や役割の方向性について、とりまとめ報告書とします。また、国・県への政策提案書として活用し、認知症サポート医の活動の環境や条件の整備等に役立てて参ります。
- 以上

菊池地域認知症サポート医連絡会議について
＝平成29年度スケジュールと検討事項＝

平成29年9月

中山記念病院

- 平成29年9月 第1回連絡会議開催
 - 菊池地域認知症サポート医連絡会議設置
 - 認知症サポート医としての活動状況の把握と今後の課題検討

- 10月～11月 アンケート調査実施

調査項目

 - 活動状況
 - 認知症サポート医の役割
 - 今後の活動について 等


- 10月～2月頃 研修会開催

専門医と認知症サポート医による、認知症医療・介護現場に赴いての研修会開催

- 12月 第2回連絡会議開催

アンケート調査の結果を基に菊池地域における認知症サポート医の活動課題を抽出し、認知症サポート医の活動の在り方、今後の方向性等について検討する

- 平成30年2月 第3回連絡会議開催
 - 菊池圏域で設定した課題解決としての意見の取りまとめ



【検討する主な5項目】

- ①認知症サポート医に期待される役割と活動について
- ②そのための支援策
- ③認知症サポート医のスキルアップについて
- ④認知症サポート医と地域の関係機関(医療・介護・包括等)との連携強化
- ⑤認知症 BPSD センター相談対応事業について(課題と方向性を整理する中に、認知症サポート医の関わり方や活動・役割等を入れて検討)